

## 社章制定に関して

外廊五つは瓜の紋（五つモッコとも言う）は社長家の家紋にして八坂神社、織田信長の紋と同一であるが、これをかたちどったものであり、その空間に「大」の字（大阪精器の大）を配する如くし、中に精器のSを配したものである。

また、外廊の五と中のSとの組み合わせは下記の如き意味を持つものである。

### 【Five S】（ファイブエス）＝五つのS

#### 1. Second（秒） 時間を守ること

我々が生活する上に於いて最も大切になものは時間である。

「時は金なり」と昔から言われている如く非常に大切なもので有るが、なかなか守り難いものでも有る。

お互いが一致協力して時間を大切にし、限られた時間を無駄なく利用し、生産の向上を計ることを希望する。

#### 2. Speedy（敏速） 敏速に事を処理すること

我々がやっている仕事には全て納期というものが有る。

納期を守ることは信用上最も大切であり、守られてこそ次の注文も貰えるということである。

納期を守るためには全ての工程に於いて敏速に処理することが大切である。いかに良い仕事をして、それが必要な時にできてこそ真の価値があるが、遅れてできてもなんら価値なきものとなる場合が多い。「拙速」という言葉ができたのもこの間の事情を表したものと思われる。

より良きものをより早く作ることが我々の使命である。

#### 3. Science（科学） 科学的に仕事を進めること

「科学する心」ということは小学校教育にも取り入れられた言葉である。

$2+2=4$  となるが、実際の仕事面では5以上にすることも可能であり、そうする所に我々の努力が必要である。

我々の仕事は次々と新しいものが受注されているので、今までの考え方では消化することができない場合が多い。常に仕事を研究し、より良き方法を考え出す心構えが必要である。

又、「コストダウン」の面に於いても、経費の節約上効果は同じでも安価なより良きものを発見するなど、我々のなすべきことは山積しているのであるが、これらを逐次解決して行く努力が必要である。

#### 4. Safety (安全) 「安全」を守ること

不注意が原因で一瞬にして指を落とし、足を負傷し、又命を失ったという例は日々耳にすることである。原因は不注意によるものが多いが、又機械の不調、手入れの不具合、機能の不具合等多々あると思うが、これらは全て直接操作している者の注意力によって未然に防止できる。

負傷して得点は一つもない。痛い目をして、会社を休み、同僚に迷惑をかけ、出費が必要になり、家族の者にも心配させる等々、かく考える時、安全がいかに大切であるかが理解できると思う、危険だと気付いた所には安全装置を施し、整理・整頓に心がけ、通路等も白線内に物を置かず、危険のない様に努めること。

#### 5. Service (奉仕) 仕事を通じて世の中に奉仕すること

我々は一人きりで一日も生活できるものではない。着るもの、食べるもの、住むものの全てが他の人々の努力によってできたものを頂いて生活しているものである。これらの人々に感謝しなければならない。又、我々がやっている仕事によって、他の人々も生活しているのである。この意味に於いて、自分の仕事に精神を打ち込み、より良きものを製作し、多くの人々に喜んで頂けてこそ我々の使命が果たされるのである。世の中に感謝すると共に仕事を通じて世の中に奉仕することを忘れてはならない。

昭和 40 年 8 月 25 日

創業者 長野貫一